

第二次佐久市スポーツ推進計画について

佐久市スポーツ推進計画（平成29年度から令和3年度）の振り返り

1 数値目標について

(1) 数値目標の結果

内容	計画策定時 H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	目標値 R3	備考
成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率	26.7%	-	-	46.0%	-	-	45.8%	65.0%	出典：佐久市民スポーツに関するアンケート

(2) 基本目標における数値目標の結果

内容	計画策定時 H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	目標値 R3	備考
年間を通じて1回以上スポーツをする成人の割合の増加	61.9%	-	-	79.2%	-	-	70.5%	94.0%	出典：佐久市民スポーツに関するアンケート
市外の方も参加、観戦できる大会などの開催件数	91件	-	-	95件	-	15件	21件	125件	出典：スポーツ協会調べ
小中学生対象のスポーツ教室の延べ参加数	751人	831人	895人	708人	1,184人	696人	793人	900人	出典：主要施策の成果報告書
スポーツ教室（小中学生対象の教室除く）の延べ参加者数	3,963人	4,386人	4,465人	4,434人	3,575人	2,311人	2,063人	4,400人	出典：主要施策の成果報告書
市内スポーツ団体加入者数	10,515人	10,794人	10,273人	11,118人	10,715人	9,986人	7,507人	11,000人	出典：社会体育基本調査
スポーツ大会の延べ参加者数	13,840人	14,148人	13,124人	13,134人	10,668人	1,415人	2,905人	17,500人	出典：主要施策の成果報告書
体育施設の延べ利用者数	740,511人	783,627人	727,364人	788,317人	759,035人	536,644人	637,797人	750,000人	出典：主要施策の成果報告書

※R2、R3は新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものと考えられます。

2 数値目標の達成度

No.	数値目標	計画策定時 (H27年度)	R3	目標値 (R3年度)	達成度	課題と分析	第二次計画における整理
1	成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率	26.7%	45.8%	65.0%	△	<p>スポーツ振興施策を総合的かつ計画的に推進したことにより、成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率は、計画策定時の26.7%と比較して45.8%と上昇しておりますが、<u>目標値の達成はできませんでした。</u></p> <p>（※1）<u>引き続き、市民のスポーツ実施に向け、スポーツを行う機会や気軽にスポーツを始めるきっかけを提供するなど、スポーツ活動を推進する必要があります。</u></p> <p>特に「<u>忙しくて時間がとれない</u>」など<u>関心があるが行っていない人や「運動をするのが面倒」などスポーツへの関心が低い人へのアプローチ</u>を進めていく必要があります。</p> <p>また、市民アンケートの結果より、<u>ウォーキングやトレーニングなどコロナ禍でも一人で行えるスポーツへのニーズを捉えて</u>推進していくことが重要と考えられます。</p>	<p>第二次計画の数値目標は、スポーツ振興施策全般に係る指標とするため、<u>市民満足度アンケートの「スポーツ施策に関する満足度」を新たに設定しました。</u></p> <p>なお、成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率は、「基本目標1：健康で活力あるスポーツライフの推進」における評価の指標として位置づけました。</p>

3 基本目標の達成度

No.	基本目標	数値目標 施策目標	計画策定時 (H27年度)	R3	目標値 (R3年度)	達成度	課題と分析	第二次計画における整理
1	スポーツによる健康で活力あるまちづくり	年間を通じて1回以上スポーツをする成人（20歳以上）の割合の増加	61.9%	70.5%	94.0%	△	<p>初心者向けやスポーツを行うきっかけとなる教室の開催などにより、年間を通じて1回以上スポーツをする成人（20歳以上）の割合は、計画策定時61.9%と比較して70.5%と上昇しておりますが、<u>目標値の達成はできませんでした。</u></p> <p>以下、（※1）と同じ</p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標1：健康で活力あるスポーツライフの推進」として設定しました。</p> <p>また「成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率」と趣旨が重複するため、見直しました。</p>
2	スポーツを通じた交流による賑わいのあるまちづくり	市外の方も参加、観戦できる大会などの開催件数	91件	21件	125件	△	<p>市外の方も参加、観戦できる大会などの<u>年間の開催件数は増加傾向でありましたが</u>、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減少となっています。</p> <p>市では、これまで豊かな自然環境、国内でも有数の日照時間が長いという特性や高速交通網の優位性を活かして、スポーツ大会やイベント、スポーツ合宿の誘致などによる交流人口の創出に取り組んできました。</p> <p>スポーツ大会・イベントの開催やスポーツ合宿の受入れは、地域経済への貢献度が大きく、<u>アフターコロナを見据えて、地域経済の活性化のため、新たなスポーツ大会やイベント開催の検討、スポーツ合宿の誘致を引続き行う必要があります。</u></p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標4：スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化」として設定しました。</p> <p>また、交流人口が評価できる指標として、「スポーツ合宿の受入れ人数」を新たに設定しました。</p>
3	東京オリンピック・パラリンピック開催を通じたスポーツ振興	海外競技団体による東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る本市での事前合宿の決定 ホストタウン交流計画に基づく交流事業の実施	-	-	-	○	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、エストニア共和国フェンシング・柔道・レスリング・陸上（十種競技）の選手団による事前合宿を令和3年7月12日から28日までの17日間受入れました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、選手と市民が直接ふれあう交流事業は難しい状況でしたが、<u>公開練習の実施や応援ビデオメッセージなどの交流事業</u>を行いました。</p> <p>今後、これまでの成果を<u>レガシーとして、継承・発展させていくことが重要と考えられます。</u></p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標4：スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化」として設定します。</p> <p>今後もスポーツを通じた交流を継続していきます。</p>
4	子どもがスポーツに参加する機会の充実	小中学生対象のスポーツ教室の延べ参加者数	751人	793人	900人	○	<p>新たな小中学生対象のスポーツ教室の開催などにより、小中学生対象のスポーツ教室の<u>延べ参加者数は増加傾向でしたが</u>、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。</p> <p>令和元年度の参加者数は、1,184人で目標数値を達成しました。</p> <p>しかし、<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ少年団活動などの機会が減少していることから、運動不足・体力低下が懸念</u>されます。</p> <p>また、<u>積極的にスポーツをする子どもと、そうではない子どもの二極化</u>が課題として考えられることから、<u>運動習慣が身に付いていない子どもへのアプローチ</u>を進めていく必要があります。</p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標1：健康で活力あるスポーツライフの推進」として設定しました。</p> <p>また数値目標は、少子化・人口減少の中で、参加人数などを指標として、適正な評価をすることは難しいため見直しました。</p>

No.	基本目標	数値目標 施策目標	計画策定時 (H27年度)	R3	目標値 (R3年度)	達成度	課題と分析	第二次計画における整理
5	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	スポーツ教室（小中学生対象の教室を除く）の延べ参加者数	3,963人	2,063人	4,400人	○	<p>市民ニーズに応じた新たなスポーツ教室の開催などにより、スポーツ教室（小中学生対象の教室を除く）の延べ参加者数は増加傾向でしたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。</p> <p>平成29、30年度の参加者数は、4,465人、4,434人で目標数値を達成しました。</p> <p><u>新型コロナウイルス感染症の拡大がもたらした市民活動の制限により</u>、今後のスポーツ活動の在り方を考えるきっかけとなるとともに、<u>一人でもできるスポーツへの関心が高まっていく</u>と考えられます。</p> <p>また、<u>東京大会の開催を契機に、共生社会への意識が高まっている</u>ことから、障がい者スポーツに関する知識の普及啓発や障がい者スポーツの体験機会の創出の充実が重要と考えられます。</p>	第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標1：健康で活力あるスポーツライフの推進」として設定しました。
6	市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備	市内スポーツ団体加入者数	10,515人	7,507人	11,000人	○	<p>地域のスポーツ団体への支援や市民への周知などにより、平成30年度の加入者数は、11,118人で目標数値を達成しましたが、<u>市内スポーツ団体加入者数は、ほぼ横ばいとなっています。</u></p> <p>地域におけるスポーツ活動には、市民に対してスポーツの指導などを行う「<u>特定非営利活動法人佐久市体育協会</u>」、「<u>総合型地域スポーツクラブ</u>」、「<u>スポーツ少年団</u>」などの関係団体が重要な役割を担っております。</p> <p>市民が生涯にわたって、身近な地域で安心してスポーツ活動に取り組んでいくために、<u>引き続き関係団体の育成や活動を支援するとともに、指導者の養成</u>を行う必要があると考えられます。</p>	第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標3：スポーツを支える団体の支援と競技力の向上」として設定しました。
7	競技スポーツの振興	スポーツ大会の延べ参加者数	13,840人	2,905人	17,500人	△	<p>トップアスリートによるスポーツ教室の開催などを実施しましたが、スポーツ大会の延べ参加者数は、<u>数値目標を達成できませんでした。</u></p> <p>また、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止のため、大幅な減少となっています。</p> <p>東京大会での本市にゆかりのある選手やエストニア共和国選手団の活躍をはじめとする<u>トップアスリートのパフォーマンスは、多くの市民に夢や希望、感動を与え、今後、さらなる競技スポーツへの関心の高まりや参加意欲の向上</u>などが期待されます。</p> <p>また、<u>令和10年（2028年）に長野県での開催となる国民スポーツ大会（旧国民体育大会）・全国障害者スポーツ大会（以下「国スポ・全障スポ」）</u>について、柔道、空手道、アーチェリー、軟式野球が本市で開催予定であり、<u>次世代育成、市民の機運の醸成</u>を図ることなどが必要になると考えられます。</p>	第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標3：スポーツを支える団体の支援と競技力の向上」として設定しました。
8	体育施設の充実・整備	体育施設の延べ利用者数	740,511人	637,797人	750,000人	○	<p>新たな体育施設の整備などにより、体育施設の延べ利用者数は、<u>増加傾向でありましたが</u>、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響による施設使用の制限により、減少となっています。</p> <p>平成28、30年度、令和元年度の利用者数は、783,627人、788,317人、759,035人と目標数値を達成しました。</p> <p>市民アンケートでは「身近な小規模スポーツ施設の拡充」が約43.0%と、施設拡充を望む声が多くありました。</p> <p>一方で、今後、<u>体育施設の老朽化に伴う更新や維持にかかる費用への対応が課題</u>として考えられることから、<u>市民ニーズを捉えた計画的な施設の整備や集約化など</u>を検討する必要があります。</p>	第二次計画においては、基本目標を整理し、「基本目標2：スポーツを安全で気軽に楽しめる施設環境の整備」として設定します。